

令和4年度福岡県高等学校総合体育大会ハンドボール競技選手権大会開催にあたっての注意事項

1 大会を開催するにあたって

- (1) 感染状況に応じて（緊急事態宣言や県内の感染拡大など）、大会の急な中止等の対応をすることがある。
- (2) 大会主催者、参加選手、引率者、大会役員等それぞれの立場で、感染防止対策を確認し、関係者全員が感染防止のために取り組み実施する。

2 大会参加者への事前連絡

- (1) 各校の引率者は、感染拡大防止のために以下の事項を遵守すること。状況によっては、他の参加者の安全を確保する観点から、主催者から大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。

- ①各校の引率者は試合前に検温など健康状態の確認を行い、以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 - ア 体調がよくない場合。（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- ②マスクを持参すること。（競技中以外、控室での着替えや会話をする際はマスクを着用する）
- ③こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ④手洗い用のマイタオルを用意すること。
- ⑤他の参加者、大会関係者等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること。
- ⑥大会中に大きな声で会話、応援等しないこと。
- ⑦感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- ⑧大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会本部に速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

(2) 大会当日の留意事項

- ①大会本部前、トイレ手洗い場には、手指消毒剤を設置する。
- ②発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は会場内に入らないよう呼びかける。
- ③参加者が距離をおいて並べるように目印を設置する。

(3) 大会参加者への対応

①体調の確認

大会当日に、参加者は以下の事項を確認し、チームで参加受付票を本部に提出する。

- ア 氏名。
- イ 大会当日の体温。
- ウ 大会前2週間における以下の事項の有無。
- エ 平熱を超える発熱。
- オ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状。

カ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）。

キ 嗅覚や味覚の異常。

ク 体重が重く感じる、疲れやすい等。

ケ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無。

コ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。

サ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

②マスク等の準備（屋外で十分な距離が確保できる場合は除く）

参加選手・引率者がマスクを準備しているか確認する。なお、競技中のマスクの着用は選手等の判断によるものとするものの、競技中以外、控室での着替えや会話をする際はマスクの着用をする。

③大会参加前後の留意事項

大会に参加する選手やチームは、試合前後のミーティング等においても、3密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分配慮する。

④大会参加申込について

ア 顧問は必ず、部員及び保護者から大会参加の同意書を取り、校長責任のもと申し込みを行う。同意書は引率責任者が各学校で保管すること。

イ 大会参加を強要することがないように配慮すること。

(4) 部員又は部顧問（関係指導者）の感染が判明した場合の考え方

①大会前

部員又は部顧問の感染が判明した場合には、当該部員、顧問また、濃厚接触者と特定された者の出場は認めない。

②大会期間中

ア 発熱等の症状がみられる場合、大会出場を認めない。

イ 当日、急に症状が出た場合は、保護者及び各学校管理職に連絡し帰宅させる。

ウ 他の選手等への健康観察を徹底する。

※その後、新型コロナウイルスに感染したことが確認された場合は各学校や行政機関の指示に従う。

その経過等については、専門委員長を通じて福岡県高等学校体育連盟・福岡県ハンドボール協会に報告する。合議のうえ、その後の大会運営については中止する。

(5) 必要最低限の人数で実施

①部員・チーム役員・引率者・大会役員以外は、原則会場に入れない。

（保護者等の入場については、5月の感染症拡大状況を考慮して判断する）

④大声での発声、声援、又は近接した距離での会話等は原則禁止する。

⑤開・閉会式、顧問ミーティングは実施しない。

